

自動車整備科・一級自動車工学科・
自動車整備スポーツメカニクス科

2023年

授業計画

時期	2年C巡	単元	実習	教科名	検査2（2年点検）	
科目	検査	教科書等 持参品	定期点検作業要領書	発行日	2022.4.1	
総時限	32時限		法令教本		教科担当	吉田
必要時限	32時限	実習ノート	鈴木			

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、自動車の定期点検の経験ある教員により定期点検基準及び自動車の車検整備の経験ある教員に、自動車検査基準に則った指導をする。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①自家用乗用自動車の法定2年点検が出来る。
- ②点検整備記録簿の記載事項、作成が出来る。
- ③自家用乗用自動車の法定2年点検の項目を理解する。
- ④検査ラインの検査機器を理解し、車両を検査出来る。
- ⑤自家用乗用自動車の法定2年点検と法定1年点検の項目の違いを理解する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①法定2年点検が出来るようになる。
- ②点検整備記録簿の記載事項、作成が出来るようになる。
- ③自家用乗用自動車の法定2年点検の項目を理解出来るようになる。
- ④検査ラインの検査機器の取り扱いを理解し、車両を検査出来るようになり、不具合箇所を調整出来るようになる。
- ⑤自家用乗用自動車の法定2年点検と法定1年点検の項目の違いを理解出来るようになる。
- ⑥法定2年点検項目以外でも不具合現象を確認でき、修復出来るようになる。
- ⑦法定2年点検を効率（動線）よく安全に作業出来るようになる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 50点、筆記試験 50点にて総合評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 1. 実技試験
 2. 筆記試験
 - ①2年点検の実施。
 - ②不具合箇所の判定。

準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
2年A巡1年点検の実習ノートを基に法定1年点検項目、お客様対応等を確認し復習する。

